

目標達成計画

事業所名: グループホームみやこ緑が丘館

作成日: 平成24年 3月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議の案内は全家族に行なっているが、欠席者が多く、広く意見を聴取する場とはなっていないため、何らかの形で御家族へ会議の理解を促し、広く意見を聴取する仕組み作りをすることが必要と考えられる。	会議の内容や様子を知って頂くと共に、興味を持って頂けることで、一人でも多くの参加者を募ることが出来、もし参加できなかったときでも意見を言える仕組みが出来る。	運営推進会議のたびに、当ホームで作成した会議の議事録等を不参加者の御家族にも送付し、会議の内容を知って頂く。又、意見等を頂ける様に、意見を記入し提出できる用紙や、アンケートなども同封して、意見の聴取に努める。	一年
2	26	介護計画の定期的見直しの際のモニタリングがスタッフの記憶に頼ってしまいがちで、情報が上手く記録に残せていない。又、利用者の様子や計画の実施についての記録が不十分であり、書式の整備が必要。	誰にでもわかりやすく、記入する時間も短く御利用者様のケアの時間に悪影響が出ない書式の整備ができ、より良いケアプランの作成とケアの提供が出来るようになる。	3ホーム合同で話し合い、書類作成を行い、会社全体でも書式の整備を行うこととなり、各方向からの目線でより良いものを作成するため、一ヶ月に数回の会議も開いている。	半年
3	33	重度化や看取りの指針を整理すると共に、現在説明し同意を得ていない御利用者・御家族全員の意向を把握し同意を得る必要がある。又、ターミナルに向けて、新人職員の多い当ホームは、より一層の準備が必要と思われる。	職員研修や医療連携体制の整備など、重度化した御利用者様の希望に添えるホームに近づく様、スタッフの質が向上すると共に、全御家族への説明同意を行う。	職員研修への参加への促しと共に、より参加しやすい環境の整備(参加費等)を行う。医療連携体制の整備。重度化や見取りについての説明・同意を頂ける時間を作り、全御家族の意向を知る。	一年
4	35	木造作りの民家改修型である作りから、火災への備えや、それ以外の災害への備えがもっと必要であると思われる。	消防や地域との連携の強化と、各種自然災害に対してより一層意識を深め、災害に負けないホーム作りを行う。	避難訓練などの実施の継続。自然災害について会議で話し合いの場を持ち、必要物品の整備や避難場所の再確認、自分たちの役割など職員全体が認識でき、実際に冷静に対応出来るよう働きかける。	半年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。